

ECOL

地球に優しい環境づくりを目指します。
産業用太陽光発電システム

産業用太陽光発電は、エコルにお任せ！

 0120-008-202



まだ遅くない、安定した収入源 & 環境問題に貢献！

理想的な太陽光発電は10kw以上50kw未満！

産業用太陽光発電とは、産業用太陽光発電システムで作った電気を全て電力会社に
買い取ってもらう事が出来る期間限定の全量買取制度が適用されるシステムです。

産業用太陽光発電システムは全量買取制度を上手に利用することによって、収益を
生むことが出来るシステムの事です。

■ 導入に関する質問及びお問合せ

ECOL

地球に優しい環境づくり
国土交通大臣許可 (般-15)第20355号

《 詳細に関するお問合せは 》

 0120-008-202
NITTEL SERVICE INC.

ニッテルサービス株式会社

ECO事業部 産業用太陽光発電システムズ **ECOL** (エコル)
〒606-8425 京都府京都市左京区鹿ヶ谷西寺ノ前町31番3号
〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須1-24-17

NITTEL SERVICE INC.

環境問題に取り組む、第一歩！

20年間100パーセント買取保証

NITTEL
SERVICE

グリーン投資減税制度

再生エネルギー対策貸付

新しいエネルギーを生み出す為に何が必要ですか？

自然の力で資源を作る！・・・あなたをご存知ですか？

あなたは、どんな環境問題に取り組んでいますか？

ECOL

産業用太陽光発電導入の流れ

産業用太陽光発電とは・・・

産業用太陽光発電とは、産業用太陽光発電システムで作った電気を全て電力会社に買い取ってもらえる期限限定の全量買取制度が適用されるシステムです。産業用太陽光発電システムは全量買取制度を上手に利用することによって、収益を生むことが出来るシステムの事です。



2012年度の産業用太陽光発電買取価格とは、買取価格や期間について調達価格等算定委員会の意見を聴いて年度ごとに見直しが行われます。しかし、一度産業用太陽光発電がスタートした場合は、ご契約時の買取価格や期間について、当初の特定契約の内容で固定されます。固定価格買取制度において、2012年度の買取価格の適用を受けるためには経済産業省令及び告示上、平成25年3月31日までに、

- (1) 経済産業大臣の設備認定を受ける。
 - (2) 系統連系に関する契約の申込み書類を電気事業者が受領する。
- 上記2点が重要になってきます。

産業用太陽光発電の申込み書類を電気事業者に提出する際、事前に電気事業者に対して系統の空き状況の確認や連系にあたって必要となる対策などの検討を求めする必要があります。通常この作業には約3か月必要です。この点をよくご理解の上、産業用太陽光発電準備を進めるようお願い致します。

産業用太陽光発電の接続検討にあたり不可欠な設備の仕様、設置場所及び接続箇所に関する情報がすべて整っている契約の申込みの書面を電気事業者が各行政(電力会社や経済産業省)に申請用紙を提出し、接続検討に要した費用を産業用太陽光発電設置者が支払いに同意していることが必要になります。

売電制度について・・・

産業用太陽光発電システム制度が開始しました。以前から注目されていた環境に対する取り組み。その取組方法として、自然エネルギーを国内の各電力会社が産業用太陽光発電で作った電力を買い取る金額が決まりました。産業用太陽光発電で作った太陽光発電買い取り金額は、42円と決定されました。産業用太陽光発電システム制度は2012年7月から開始しています。

電力を42円で売れるって本当なの？・・・

2013年3月までこの制度は確定しています。売電価格が1kWあたり税込み42円です。住宅用の売電に関して、日本での太陽光発電は電力会社と系統連系という形で接続され、ソーラーパネルで発電した電力は、まず家庭内で消費され、余った電力を電力会社に売電するという形でした。基本的に買電価格と売電価格は同じであり、電力の契約形態や使用電力量によって多少違いはありましたが、約24円の買電契約でした。

行政より太陽光発電の普及を促進させるというプロジェクトから、2009年11月に売電価格が48円に決まり対象は既に設置してある太陽光発電システムのオーナーで、2011年3月までに設置したオーナーが48円で、売電契約は10年間となりました。この制度は太陽光発電システムを早く設置した人ほど有利になっており、実際2011年4月から単価が42円に引き下げられ、現在に至っています。

今回のこの制度は、産業用太陽光発電が対象となり住宅用は対象外になっています。企業が工場や野立てなどのに産業用太陽光発電を設置したり、メガソーラー発電所のように企業や自治体などが大規模に設置するケースが対象です。ヨーロッパを中心に産業用としての太陽光発電を高額で買い取る制度が広まったため、普及が促進し、産業用太陽光発電が世界No.1だった日本の太陽光発電市場は海外勢に大きく引き離されてしまいました。そこで、今回の制度が昨年に成立した再生可能エネルギー特別措置法に基づき2012年7月1日より実施されました。

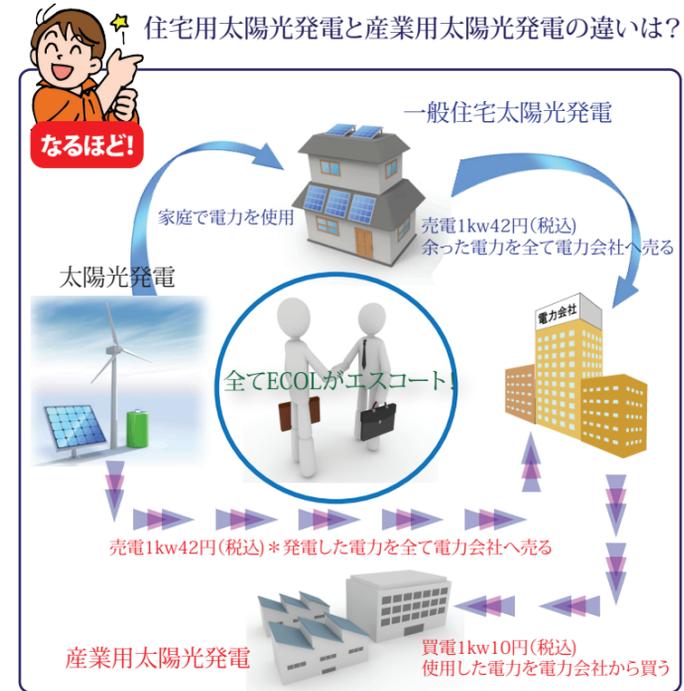
住宅用太陽光発電と産業用太陽光発電の違いは？

住宅用太陽光発電と産業用太陽光発電の違いは、圧倒的に産業用太陽光発電のほうが有利な制度になっています。産業用太陽光発電の違いとは全量買取であるという点、つまり発電した電気のすべてを売電できる事です。住宅用太陽光発電では、まず家庭内で消費し、余った電力だけを売るシステムで、家庭で電力の使用量が多いと、電力会社から買い取ってもらえる金額が減ります。しかし、産業用太陽光発電を取り付けた場合、発電した1kWあたり42円で売電できる一方、使用する電力は10円程度の安い価格で購入できます。

10kW以上の産業用太陽光発電を設置すれば、42円での買い取り期間20年間保証されます。(10kW未満の場合は家庭用と同じ10年)。産業用太陽光発電を設置する事により非常に有利な条件になっています。産業用太陽光発電システムの導入価格やメンテナンス費用、そして設置する場所や方角によって条件は変わってきますが、現在産業用太陽光発電システムの価格が減少し通常7、8年で投資額が回収でき、それ以降は純利益となってきます。住宅用太陽光発電の場合、たとえ補助金があるとはいえ余剰電力分しか売電できないため、償却するのに長期の期間が必要になります。



まだ遅くない、安定した収入源&環境問題に貢献！ 理想的な太陽光発電は10kw以上50kw未満！



お問合せから 発電までの流れ

ホームページからお問合せの場合
<http://www.nittel.co.jp>



	工程の流れ	お支払時期
ステップ(1)	エントリーシートに記入	
ステップ(2)	プラン見積ご提案	
ステップ(3)	現地調査	
ステップ(4)	地質調査	
ステップ(5)	本御見積提出	
ステップ(6)	ご契約	(30%)
ステップ(7)	図面及び諸官庁手続き書類作成	
ステップ(8)	設備認定(ID取得)・電力会社契約	(40%)
ステップ(9)	部材発注及び工事着工	
ステップ(10)	竣工及び立会い検査時	(30%)
ステップ(11)	自家発電所開始	